

宇都宮市立富士見小学校 第4学年 児童質問調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

【家での学習】

○「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」について、肯定割合は79.8%で、県の平均を3.8ポイント上回っている。また、「家で、学校やじゅくの決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」の肯定割合は70.6%で県の平均を6.4ポイント上回り、「家で勉強するときに、だいたい同じ時こくに取り組むようにしている」の肯定割合も79%で県の平均を13.6ポイント上回る。このことから、自分で見通しをもって学習に取り組んだり、習慣として同じ時間に取り組んだりしている児童が多いことが分かる。今後も、児童が見通しをもって充実した家庭学習に取り組めるよう、家庭学習強化週間を実施したり、家庭学習のすすめを活用したりして指導・支援を継続していきたい。

●「家で、学校の授業の復習をしている」について、肯定割合は60.5%で県の平均を7.5ポイント下回った。「家で、テストでまちがえた問題について勉強をしている」の肯定割合は65.5%で県の平均を3.2ポイント下回っている。また、「平日、1日当たりの学習時間」で宇都宮市が目安としている40分を上回る「1時間以上」と回答している割合は43.7%で県の平均を1.4ポイント、土日等で1時間以上と回答しているのは43.7%で県の平均を4.0ポイントそれぞれ下回っている。自分で計画を立てて学習する際に、授業の復習や間違い直しができることよい。また、学校でも自主学習の取組例として、授業の復習やテストで間違えた問題の勉強に取り組めるよう助言していきたい。

【学校での様子】

○「学校の授業時間以外に、平日、1日当たりどのくらいの時間読書をするか」では30分以上と回答している割合が46.2%で県の平均を4.7ポイント上回っている。「1か月に何さつくらい本を読みますか」の回答結果も良好で、読書の習慣が身に付いている児童が多いことが分かる。

●「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」の肯定割合は67.3%で県の平均を8.5ポイント下回っている。授業において学習への興味・関心が高まるような導入の工夫をしたり、家庭学習に取り組んでいる児童の取組例を紹介したりすることで学習に対する意欲の向上を図っていきたい。

【家での生活】

○「毎日、同じくらいの時こくにねている」の肯定割合は、80.6%で県の平均を13.8ポイント上回っている。また、「早ね、早起きを心がけている」の肯定割合は、84.0%で県の平均を5.8ポイント上回っている。このことから、家庭において適切な生活習慣を身に付けている児童が多いことが分かる。

●「平日、1日当たりどのくらいの時間テレビや動画の視聴するか」については、4時間以上と回答した児童が16%おり、「平日、1日当たりどのくらいの時間テレビゲームをするか」が2時間以上と回答している児童も39.5%いる。ただらと視聴したり、ゲームに夢中になりすぎたりしないようにするために、家庭でルールを決めたり、読書をしたりするなどの対応ができるとよい。また、学校でも放課後のよりよい過ごし方について、継続的に啓発していきたい。

【自分自身のことについて】

○「自分には、よいところがあると思う」の肯定割合は、85.7%で県の平均を1.9ポイント上回っている。また、「自分のよさを人のために生かしたいと思う」の肯定割合は94.1%で県の平均を3.5ポイント上回るなど、学級集団での良好な人間関係を通して、自分のよさを生かしていこうという意欲をもつことができる児童が多いことが分かる。

●国語、算数、社会、理科、総合的な学習の時間において「教科の学習は好きですか」の肯定割合はすべての教科で県の平均を下回った。一方で、それぞれの教科が「しょう来のために大切だと思いますか」の肯定割合は全て県の平均を上回っている。このことから、勉強することの大切さを感じているものの、学習に取り組むことの楽しさや面白さを味わえていない児童が多いことがうかがえる。授業で明確にめあてを立て、分かりやすくまとめるなど、何を学んだのかがはっきりと分かる授業の展開を行っていきたい。また、学習した内容が生活のどのような場面で生かされるのかを伝えるなど、学習することへの興味や関心の更なる向上に努めていきたい。